

家読(うちどく)が子どもを変え、 学校・家庭・地域・国を変える

と き:平成21年8月21日(金) 午後2時から

場 所:ユーパル矢祭 大ホール

講 師:家読推進プロジェクト代表

さがわ つぐすけ
佐川 二亮 先生

講師紹介:

昭和22年(1947年)福島県矢祭町生まれ。株式会社トーハンで「トーハン週報」や「新刊ニュース」等の出版情報誌の編集に携わる。平成7年(1995年)より「朝の読書」提唱した林公・大塚笑子教諭とともに「朝の読書」を全国の学校に広める運動に取り組む。平成18年(2006年)12月に「朝の読書」運動の延長として、家庭での読書「うちどく(家読)」運動を立ち上げる。

「朝の読書推進協議会顧問。著書に『写真集作家の肖像』、共著『朝の読書はもうひとつの学校』。企画出版に『ダモイ遙かに』(辺見じゅん著)、『ラストメッセージ』(高木敏子著)、『このころの処方箋』(河合隼雄著)、『あてのない手紙』(宮川ひろ著)、『30%の幸せ』(内海隆一郎著)など多数。



対 象:矢祭町保育所・幼稚園小中学校教職員、
矢祭町「子ども読書の街」づくり実行委員
教育関係支援団体員

入場料:無 料

主 催:矢祭町小・中学校学力向上推進会議
共 催:矢祭町「子ども読書の街」づくり実行委員会
矢祭町「学校図書館活性化総合事業」推進委員会

矢祭町出身で、今、
中央で活躍されている
佐川二亮(つぐすけ)さ
んが、家族で取り組む
読書習慣のすばらし
さ、大切さについて、
講演を行います。
特に今の子ども達に
求められる心の豊か
さ、思いやる心、自立
心の醸成等に大きな効
果をもたらす家読。
なぜ今、読書なのか。
まずはその意義に触れ
てみることから、家庭
での一歩を踏み出して
みませんか。